

ottobock.

上肢懸垂用 肩関節装具
オモニューレクサ プラス (5065N)



上肢を良肢位にする、肩関節装具

脳卒中片麻痺に起こりやすい肩関節亜脱臼に対しアプローチするために開発されたオモニューレクサ プラス。
亜脱臼しやすい肩関節を求心位にし、痛みの軽減や予防だけでなく姿勢や歩容の改善が期待できます。

適応：脳卒中片麻痺による肩関節亜脱臼

上肢を良肢位にすることで生まれるメリット

For セラピスト

- ・ 訓練中の手の巻き込みを防ぐ
- ・ 下肢や体幹の動きに集中した歩行訓練
- ・ 体幹の安定により ADL 訓練の指導が容易

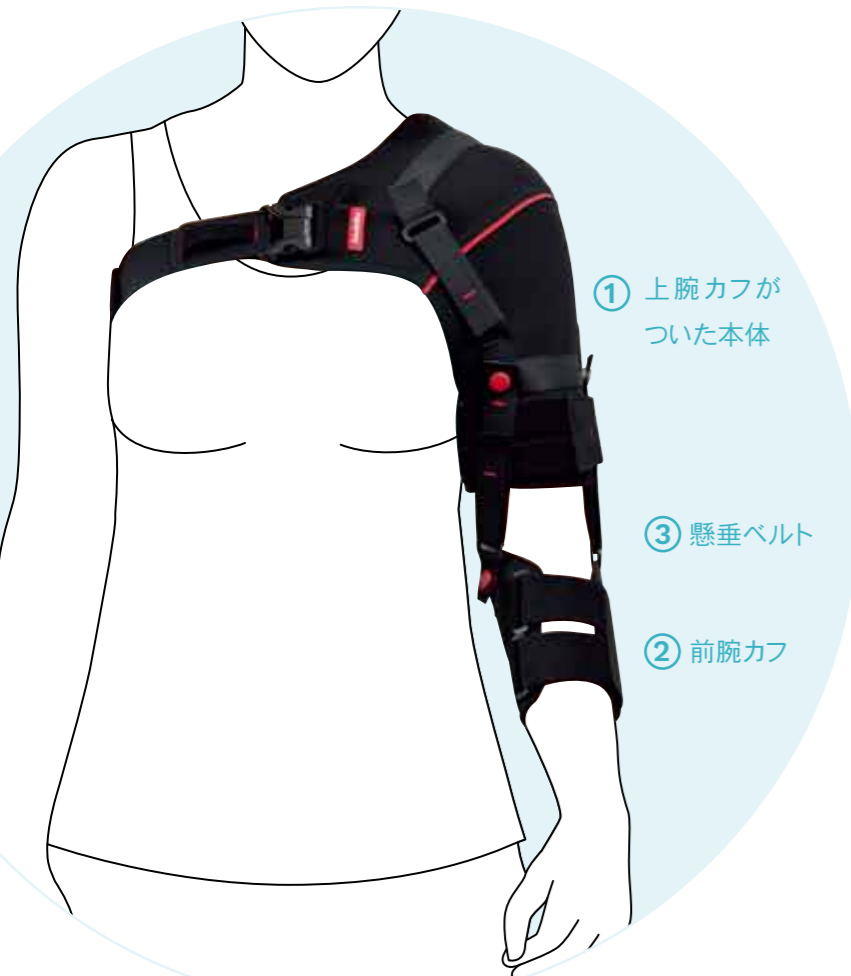


For ユーザー

- ・ 疼痛の軽減
- ・ 肩関節亜脱臼の予防
- ・ 体幹の安定
- ・ 歩容、立ち上がり動作の安定

製品の構造

①上腕カフがついた本体と前腕を支える②前腕カフ、それらをつなぐ③懸垂ベルトから構成されます。



懸垂をサポートする滑り止め



上腕カフと前腕カフの裏地の端部にシリコン素材*の滑り止めを施しています。肌に吸着し懸垂力を高めます。

*シリコン素材により、皮膚障害などを起こす場合があります。アレルギー体質の方や肌が過敏な状態にある方は、医師または義肢装具士など、担当医療機関にご相談の上、装着ください。

回外方向に引っ張る懸垂ベルト

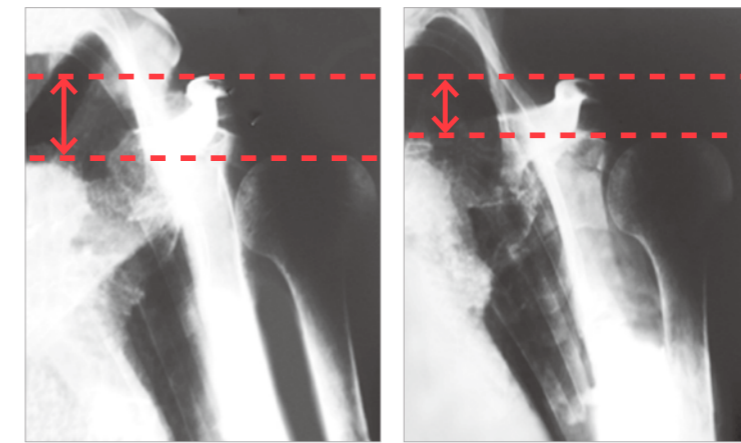
同じ色のボタンを留めるだけで、前腕回外位になるようにデザインしています。装着するだけで、脳卒中片麻痺者に多い、内旋肢位を抑えることができます。

ステファン・ヘッセ教授[※]との共同開発

2008年にオットーボック社は動作分析を専門とする脳神経外科医ステファン・ヘッセ教授とともに、脳卒中片麻痺による肩関節亜脱臼用装具としてオモニューレクサを開発しました。

上腕骨頭位置の改善

ステファン・ヘッセ教授による評価報告において、オモニューレクサを装着した状態でのレントゲン写真で亜脱臼の減少も証明されています。^{*1}



非装着時

装着時

“The arm is taken care of so the patient can better concentrate on gait training.”

“上肢が支えられることで体幹が安定し、患者はより歩行訓練に集中できる”



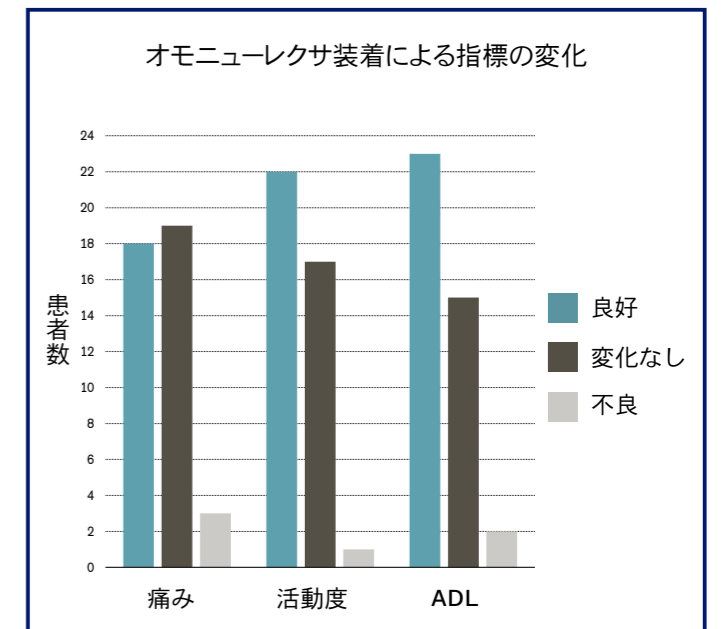
※ Prof. Dr. med. Stefan Hesse: Head of the Department of Neurology at Medical Park Berlin Humboldt mühle

リハビリの過程におけるオモニューレクサの有効性

同じく実際の患者の評価調査では、オモニューレクサ装着により日常生活能力の改善が認められました。^{*2}

オモニューレクサを装着した場合と装着しなかった場合を比較し下記の結果が得られた。

- 83.3%の肩関節亜脱臼患者にレントゲンで上腕骨頭位置の改善が認められた。
- 45%の患者に疼痛の改善が報告された。
- より対称的な歩容に、有意に改善した。
麻痺側立脚期の延長および麻痺側大腿四頭筋の、より適切な筋活動が見られた。
- 日常生活での移動に関連した活動レベル向上を認めた。



装着方法

正しい装着により、オモニューレкса プラスは効果を発揮することができます。
オトナーボック WEB サイトにて、その装着方法やポイントをお伝えしています。

<https://www.ottobock.com/ja-jp/orthotic/video/5065>

機能確認や装着確認のための試着できるデモ機のご用意があります。
ご担当の義肢装具士を通じてご利用が可能です。



固有感覚受容器を刺激するためのシリコンパッド

付属パーツとして、肩関節周囲の背部筋群を押さえるための『シリコンパッド』を同梱しています。貼付箇所に指定はありませんが、肩関節周囲の背部筋群に刺激を与えることができます。使用する場合には、適切な指導のもとで活用してください。



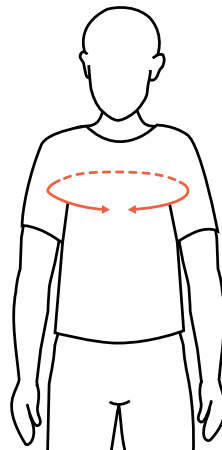
製品サイズ

下記のサイズ表からお選びください。

| 発注品番 | 左右 | サイズ | 適用範囲 胸部周径 (cm) |
|---------------|----|-----|-------------------|
| 5065N=R-XXS-7 | 右 | XXS | 71~79 |
| 5065N=R-XS-7 | | XS | 79~86 |
| 5065N=R-S-7 | | S | 86~94 |
| 5065N=R-M-7 | | M | 94~102 |
| 5065N=R-L-7 | | L | 102~110 |
| 5065N=R-XL-7 | | XL | 110~118 |
| 5065N=L-XXS-7 | 左 | XXS | 71~79 |
| 5065N=L-XS-7 | | XS | 79~86 |
| 5065N=L-S-7 | | S | 86~94 |
| 5065N=L-M-7 | | M | 94~102 |
| 5065N=L-L-7 | | L | 102~110 |
| 5065N=L-XL-7 | | XL | 110~118 |

《サイズの測り方》

イラストのように脇下の胸部周径を測ります。



*1 Hesse, S., Bardeleben, A., Grunden, J., Rembitzki, I.,
「Presentation of a new shoulder orthosis for the treatment of a painful shoulder in highly paretic patients in the early phase of rehabilitation,
(早期リハビリテーションにおける脳卒中片麻痺患者の肩関節痛に対する新しい装具の提案)」
Neurologie & Rehabilitation 2008; 14 (2): 89-92.

*2 Hesse, S., Herrmann, C., Bardeleben, A., Holzgraefe, M., Werner, C., Wingendorf, I., Kirker, S. G. B.
「A new orthosis for subluxed, flaccid shoulder after stroke facilitates gait symmetry: a preliminary study
(脳卒中後の肩関節亜脱臼に対する新しい装具は、歩行の非対称性を改善する)」
Journal of Rehabilitation Medicine 2013; 45 (7): 623 629

お問い合わせ先

- ・本カタログは医師または義肢装具士などの医療従事者向けです。
- ・本誌掲載の製品を使用される際には、必ず義肢装具士および医師が調整を行ってください。
- ・予告なく製品の仕様やデザインが変更になることがあります。
- ・カタログの写真と実際の製品とは、色などに違いがある場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本カタログの内容は 2024 年 11 月現在のものです。

オトナーボック・ジャパン株式会社 www.ottobock.com/ja-jp
〒105-0012 東京都港区芝大門1-9-9 野村不動産芝大門ビル4F
TEL. 03-6739-4090(代表) FAX. 03-6739-4097